

第3学年 外国語活動学習指導案

日 時：令和5年11月22日（水）公開授業Ⅱ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校3年1組 31名

授業者：谷藤 剛

A L T：ジョン・マティシ

- 1 単元名 Unit7 「This is for you.」(Let's Try!1 3年)
カードをおくろう

2 単元の見込み

身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

話すこと〔やり取り〕ウ

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで「好きかどうか」や「どんな〇〇が好きか」「いくつあるか」などを尋ねたり答えたりすることを学んできた。また、身の回りにあるものや色なども学んできた。

児童は、HRTやALTのやり取りを見て推察したり、話したり、聞いたり、やり取りしたりすることに意欲的に取り組んできている。リズムに乗って声を出したり、外国語の発音に興味をもって真似をしたりする様子が見られる。聞き慣れた言葉から話の意味を推測することも楽しんでいる。外国語を使ってやり取りする際は、児童同士教え合いながら活動する様子が見られる。

デジタル教材の活用では、外国の言葉や生活の様子に興味をもち、日本との違いを考えながら学習に取り組んでいる。チャンツや歌への取り組みも大変意欲的である。

(2) 教材について

本単元では、まず、様々な形を表す語や何が欲しいかを尋ねたり答えたりする表現に出会う。次に、それらの語や表現などを使いながら誰かに贈るためのカードを作り、紹介し合う。相手意識、目的意識を大切にしていきたい。

(3) 指導について

第1時では、HRTとALTでやり取りをして、形づくりをする場面を見せたり、様々な色や形を表す表現に出合わせたりすることで、日本語と英語の音声の違いに気付かせるようにする。また、世界のグリーティングカードを紹介し、自分なら誰にどのようなカードを作りたいかを問いかけ、最終活動の見通しをもたせる。

第2時と第3時では、形を表す語や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、ゲームやアクティビティを通して、形や色を表す語や欲しいものを尋ねたり答えたりすることに繰り返し取り組むことで、その表現に十分慣れ親しませたい。

第4時と第5時には、好きな形を集めてカードを作成し、カードを紹介し合う。その際、贈る相手を考えたり、どんな気持ちを伝えたいかを考えたりすることで相手意識をもってカード作りができるようにする。

ICTの活用については、第1時のHRTとALTのやり取りでは、デジタルコンテンツを使うことで児童にイメージをもたせたり、必要に応じて繰り返し提示したりできるようにしたい。世界のグリーティングカードを紹介する際は、デジタル教材を用い、世界にはいろいろなグリーティングカードがあることを実感させたい。

第2、3時では、ミッシングゲームやおはじきゲーム、ビンゴゲームなどにデジタルコンテンツを活用する。児童が主体的にゲームやアクティビティに参加することにより、慣れ親しませること

ができると考える。

第4, 5時では, 出来上がったカードの紹介方法をデジタル教材で示す。必要に応じて繰り返し参考にするためである。

< 言語材料 >

- What do you want?(A star), please. Here you are. This is for you. Thank you.
You' re welcome.
- want, this, a, for, 状態 (big, small) 形 (square, rectangle, star, diamond)
動物 (dog, cat, panda, mouse, bear) bus, flower, shop, balloon, house, car, candy など

4 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと 〔やり取り〕 | 色や形など, 身の回りのものについて, What do you want? や~, please. などを用いてほしいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 | 身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 色や形など, 身の回りの物について, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 | 身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 色や形など, 身の回りの物について, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 |

5 単元計画 (5時間)

| 時間 | ねらい・学習活動 | 評価規準 (評価方法) | | |
|----|--|---|----------|---------------|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1 | <p>◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに, 色や形など, 身の回りの物を表す言い方を知る。</p> <p>○指導者が作成した「ありがとうカード」を見て, 最終活動への見通しをもつ。</p> <p>○誌面には, 何があるかな。</p> <p>【Let' s Play1】 【Let' s Play2】 【Let' s Watch and Think】</p> | <p>本時では, 記録に残す評価は行わないが, 目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても, 教師が児童の学習状況を確認する。</p> | | |
| 2 | <p>◆色や形など, 身の回りの物の言い方に慣れ親しみ, 欲しいものを表す表現を知る。</p> <p>○ミッシングゲーム</p> <p>○カードを作ろう。</p> <p>【Let' s Chant】</p> <p>○ほしい色や形を尋ねたり答えたりしよう。</p> | <p>本時では, 記録に残す評価は行わないが, 目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても, 教師が児童の学習状況を確認する。</p> | | |

| | | | | |
|---------|---|---|-----------------------|-----------------------|
| 3 | <p>◆色や形, 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let' s Chant】 【Let' s Listen】</p> <p>○欲しいカードを伝え合いカードを作る。 ○これは何でしょう? できた形をインタビューする。</p> | <p>本時では, 記録に残す評価は行わないが, 目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても, 教師が児童の学習状況を確認する。</p> | | |
| 4 本時 | <p>◆身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 色や形など, 身の回りの物について, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let' s Chant】 【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> 欲しいものを尋ねたり答えたりして集め, 「ありがとうカード」を作る。 | ○知 (行動観察, 振り返りカード) | ○思 (行動観察, 振り返りカード) | 態 (行動観察, 振り返りカード) |
| 5 | <p>◆身近な人に感謝の気持ちを伝えるために, 自分の作ったカードを紹介するやりとりをする。</p> <p>【Let' s Chant】 【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品を紹介して, カードを贈るやりとりをする。 | ○知 (行動観察, 振り返りカード) | ○思 (行動観察, 振り返りカード) | ○態 (行動観察, 振り返りカード) |

6 本時の指導 (4時間目/全5時間)

(1) 目標

身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 色や形など, 身の回りの物について, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) 評価規準

| 観点 | B おおむね満足できる | Bに到達させるための手立て |
|----------------|--|----------------------------|
| 思考 判断 表現 | 友達に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 色や形など, 身の回りの物について, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 | 友達同士教え合ったり, カードを参考にさせたりする。 |

(3) 展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 ◇対話にかかわる指導 ●評価 |
|----|--------------------------|------------------------------|
| 導入 | 1 前時想起 【Let' s sing】歌 | ・楽しく歌うことで, 対話へのウォーミングアップを図る。 |

| | | |
|---|---|--|
| 5分 | 2 課題把握 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">【学習課題】</p> <p style="text-align: center;">ありがとうカードを作るために、買い物をしよう。</p> </div> |
| 展開 35分 | <p>3 解決の見通し 今日の活動を確認する。</p> <p>4 課題解決</p> <p>(1) 【Let' s Chant】</p> <p>(2) 【Activity】</p> <p>①欲しいカードを尋ねたり答えたりするやり取りの場面を見る。</p> <p>②欲しいカードを渡したりもらったりする。</p> <p>③カードを使って、ありがとうカードを作る。</p> <p>(3)カードの紹介の仕方を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・活動のメニューを示すことで、見通しをもたせる。 ・やり取りの言葉に慣れることによって、次の活動に自信をもって取り組めるようにする。 <p>◇HRT と ALT のやり取りを見ることで、活動の見通しをもたせる。</p> <p>◇ペアになり、カードを渡す側ともらう側に分かれる。ペアで交代して受け渡しをする。</p> <p>◇よかった児童をモデルとして演じさせたり、やり取りの中で困ったことを聞き取ったりして、後半の活動に生かせるようにする。</p> <p>●身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p>◇相手意識をもたせるために、どんな気持ちか、何を伝えたいか問いかけるようにする。</p> <p>◇カード紹介の仕方を ALT とのやり取りで示す。次時の活動を知る。</p> |
| 終末 5分 | <p>5 振り返り</p> <p>6 次時予告</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【例】 自分のほしい形を伝えることができました。相手のほしい形をわたすことができました。ありがとうの形を言うことができてうれしかったです。</p> </div> |

(4) 板書計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 1月22日 (水) Unit 7 This is for you. | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ありがとうカードを作るために、買い物をしよう。</p> </div> | | | | |
| <p>【見通し】</p> <p>1 【Let' s Chant】</p> <p>2 【Activity】</p> <p>3 ふりかえり</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 50px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">ピクチャーカード</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 50px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">ピクチャーカード</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 50px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">ピクチャーカード</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 50px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">ピクチャーカード</p> </div> |